

DX STRATEGY REPORT

日本新薬のデジタル戦略 ～実行戦略～



Digital for Innovation

データ・デジタル技術を用いた社会への提供価値の創出

当社では、データを重要な経営資産の一つと位置づけています。

研究・開発から生産、営業、製造販売後、また機能食品事業の各領域で創出されるデータの価値を最大限に引き出すため、必要な情報を必要な部門が迅速かつ安全に活用できるデータ利活用基盤の整備及び生成AI等のデジタル技術の活用を推進しています。これにより、意思決定の高度化と業務の効率化を通じ社会への提供価値を新たに創出することにより、事業価値の持続的な向上を目指しています。

具体的には、以下の取り組みを進めています。

- ・難病・希少疾患など公共データに限られる領域において、自社オリジナルデータを効率的に取得し、公共データと統合して活用することによる研究・開発基盤の強化
- ・リアルワールドデータ（RWD）を活用した、研究・開発における意思決定品質の向上
- ・営業活動で用いるあらゆるデータの統合・分析・可視化による、顧客ニーズに即した戦略の高度化及びアクションの迅速化
- ・機能食品事業におけるデジタルマーケティングの推進及び蓄積データの活用による製品価値の向上



Digital for Operation

業務の再構築による生産性と業務品質の飛躍的な向上

当社では、デジタル技術の活用を通じて業務プロセスそのものを見直し、生産性の抜本的な向上に取り組んでいます。

医薬品事業及び機能食品事業の研究・開発、生産、営業、管理部門などのバリューチェーン全体において、定型業務の自動化や業務の標準化・効率化を進めることで、社員一人ひとりがより創造的で付加価値の高い業務に集中できる環境を整備しています。これにより、時間の創出とコスト構造の最適化を両立させ、持続的な成長を支える強固な経営基盤の構築を目指しています。

具体的には、以下の取り組みを進めています。

- ・AIや最新のデジタル技術を活用した治験関連文書作成の効率化等による、研究・開発プロセスの高度化
- ・高度な分析業務のアプリケーション化による、分析時間の削減とデータドリブンな意思決定の加速及び品質の向上
- ・ファクトリーオートメーションの推進を通じた業務プロセス変革による、業務効率の飛躍的な向上
- ・需要予測や在庫管理などへのAI活用による、業務効率化と適正在庫の実現
- ・M365 Copilotの全社導入による、社内情報検索や調査業務の効率化、ならびに定常業務の抜本的な変革



Digital for Adaptation

全社のデジタルリテラシー向上と専門性のあるIT/DX人材の育成

製薬企業におけるDXの推進には、各業務領域における高度な専門性に加え、データやデジタル技術に対する深い理解が不可欠です。当社では、医薬品事業及び機能食品事業の研究・開発、生産、営業、管理部門など各業務領域において、それぞれの領域に関する高度な知識を有する社員が多数在籍しており、これらの専門性をデジタルで拡張・高度化することがDX推進の基盤になると考えています。

具体的には、以下の取り組みを進めています。

- ・全社員向け社内Webinarや社外連携等を通じた、全社のIT/DXリテラシー向上とDX推進の風土醸成
- ・各業務領域からデジタルリテラシーの高い社員を選抜し、データ活用やシステム、AIなどに関する専門的な知識を効率的に身につける教育・育成
- ・少人数・スモールな単位で、テーマや目的を明確にした凝集性の高い学習・実践の場を設けることで、業務理解とIT理解を併せ持つ人材の育成
- ・現場の課題を的確に捉えデジタル技術を活用し業務変革を主体的に推進できる、ビジネス領域とデジタル領域の見識を合わせ持つ人材の育成・創出及び新たな組織の構築

